

2010年度3年次編入学試験「実技試験」「小論文」等の採点基準

学科・専攻	実技試験(芸術学科は小論文)	面接		
	狙い・意図、採点のポイント	狙い・意図、採点のポイント	小論文利用	実技試験作品利用
日本画		50点以内の作品2点以内他ポートフォリオと小論文を参考にした。 3年次に相当する力があるかどうか。今後の作品により描く力、技術、構成力、発想がいかなるものか見る。編入することで成長するかどうかを見る。	○	
油 画		当該学年に相当するだけの作品と思考が充実しているか。各自の大学編入後のビジョンはあるか。どのような意図で制作しているか。多摩美を選んだ理由が明確かそうでないかなどを総合的に判断して採点した。	○	
彫刻		本学への明確な進学目的を持ち独自の研究テーマを持っているか。また、本学の課題への基本的な適応力を具体的な研究領域や将来への展望を有しているか審査した。	○	○
工 芸		本学工芸学科を志望する具体的な動機や専門授業に対する表現や技術レベルを推しはかり、今後の授業に対応することが可能であるか否かを観ると同時に、人物から受ける熱意なども合わせて判断した。	○	
グラフィックデザイン	出題のねらいはデザイナーとしてのビジュアルコミュニケーションの効果を作りだすのに必要な造形力を求めている。鉛筆デッサンでは創作の原点である観察力。そこから生まれる発見やひらめきなどを描く描写力を。色彩構成では課題を造形化する発想力と構成力を問う。	・ 編入学志望理由が明確であるか ・ 授業への取り組みが意欲的であるか ・ 持参作品による描写力、色彩、構成力などの基礎的造形力の評価	○	○
プロダクトデザイン	・ 理解力 = 問題の把握、理解が適切か ・ 発想力 = アイデアが優れているか ・ 独創性 = 他にないアイデアか ・ 実現力 = アイデア具体化方法の知識があるか ・ 3年次に相当する能力を有するか	・ 授業に必要な対話力があるか ・ 本専攻の内容を理解しているか ・ 本専攻への入学意図は明確か ・ 自分の意見を述べられるか ・ 学習意欲が感じられるか	-	-
テキスタイルデザイン	テキスタイルデザインを学ぶために必要な基礎的観察力、色彩表現力に加えデザイン力を問うことをねらいとして出題した。また、解答の中に設問に対する解釈と独自の表現が示せているかを採点ポイントとした。	受験者が本専攻の基礎課程(1,2年次)と同等の実力を有しているか、また3年次からの授業についていけるかどうかを持参作品によって審査した。さらに、口頭および記述によって自分の考えやテキスタイルデザインを学ぶための熱意を明確に説明できるかも評価の対象とし、採点のポイントとした。その際に共通教育の小論文を参考にした。	○	-
環境デザイン	本学3年生と同レベルの造形力、およびデッサン力があるか。形、空間を把握し、表面上に表現する能力があるか。	在籍中の学校において本学科の1,2年次で学ぶ内容と同等以上の教育を受けているか、また本学科の3年生と同レベルの知識、デザイン力があり、授業についていけるかどうか。学校を変えることに対する目的意識がはっきりしているか。実技試験と共に、在学中の学校の課題作品によるポートフォリオで評価する。	-	○
情報デザイン 情報芸術コース		・ 情報芸術コースの2年次までのカリキュラムで身につける、あるいはそれ相当の作品制作に必要な知識やスキル ・ 編入前の大学における学習成果と成績と、それを編入後に活用していく力 ・ 情報芸術コースの教育内容、制作内容に関する調査と理解 ・ 編入および編入後の製作に関する明確な目的/目標の有無	-	
情報デザイン 情報デザインコース		編入の意図や目的が明確であるか、特に、情報デザインを学ぶ目的知識があるか。学科・コースの教育を理解しているか。自分の考えを持ち、それを自分の言葉で伝えることができるか。(小論文も参照)デザインについての基礎知識と基本的な表現技術があるか。(作品プレゼンによる)	○	
芸術		芸術学科で何を研究したいのか、受験生の知的能力や知的関心がその研究を進めていくのに十分か、芸術の理論や歴史に関する基礎知識は持っているか、卒業論文を書き上げるのに十分な能力を有するか、などを判定します。	○	

全学科共通小論文

問【「美術の行方」という題で、八〇〇字程度の文章を書きなさい。】  
3年次編入学試験受験者は、他大学等の1-2年課程で既にある程度の知識や技能を身につけた上で、あらためて美術や芸術について自分なりに考え、本学への入学を志したことであろう。テーマを通じて、そうした「自分なりの考え」を問うとともに、基本的な思考力、論理的な構成力、文章表現力を総合的に採点。